

【めむろ未来ミーティング日程3】

令和6年1月10日(水)

10:00～10:50

- 参加者 13人
- 芽室町 町長、副町長、教育長
政策推進課長、農林課長、環境土木課長、
魅力創造課参事
- 記録 広報広聴係

■対応・検討が必要な事項

なし

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 公共施設再配置構想
資料2 新嵐山スカイパークの在り方
- 4 意見交換

【参加者】

新嵐山のドッグランについて。帯広の動物病院に行くたび、本当になくなってしまうのかとよく聞かれる。大型犬が入れるドッグランは中々ないので、評判も良かった。

【町長】

夏場の機能をどうするのか、これから調整することになる。夏からドッグランを再開できるのか、今言える状況ではない。今は会社として清算業務を進めており、それが1月いっぱいぐらいは間違いなくかかる。

あり方、骨格の中でどういう機能を残していくのかを議論するなかで、ドッグランのような要望もあると思う。おかげ様でドッグランは非常に人気で、飼い主さんのネットワークを通じて沢山の方に来ていただいた。すぐ再開というところまでは申し上げられないが、議論の中で必要な機能ということで整理されたときには、存

続を考えている。

あれは全て無料で開放していたので、経営的にはあまりプラスにはなっていなかった。しかし、多くの方から好評をいただいております、存続に向けてのご意見ということで扱わせていただきたい。

【参加者】

保育所について。農村保育所を統合したが、町の人が入り、書類審査、面接があり農家の子どもがちよっと入りづらいと聞いている。保育所5か所を1つにまとめたが、こうなるのであれば潰す意味はなかったのではという意見を耳にする。

【副町長】

いわゆる僻地保育所といわれているものは各所にあったが、それぞれ単体で存続するのは子どもの数が減ってきて非常に厳しいというのがあった。

一か所新しく認可保育所を設置し、僻地保育所を廃止した経過があるので、農家の方のためだけの保育所ではないという整理をした。まちなかの保育所と同じ保育体制を組み、通年で保育所をやるというものであった。しかし、統合という認識が強く、そういうイメージを持たれている。逆に、農家の方でも町なかのつつなん保育所、かしわ保育園を希望して入る方もいる。また、地域では上美生保育所が去年から閉所になっており、上美生の子がひだまり保育所に入ったりしている。そういったこともあり、なかなか入りづらいという現象は私どもも認識している。

一方で子どもの数が減ってきているので、つつなん保育所・かしわ保育園が定員割れするような状態になっている。年度途中で町内の受け皿がなくひだまり保育所に入るというパターンもあり、状況としては農家の方優先というようにはなっていない。ただ、ひだまり保育所は伏古地域のご子息を入れるところ、優先的に入所判定をしている。保護者の希望になるべく沿うようにしたいとは考えている。

【町長】

認可保育所なので、基本的にはどなたがどのような所に行くのも自由。少人数保育ということもあり、ひだま

り保育所の方針は人気があって、市街地の入所希望者も出ているという実態がある。いろいろな経過もあるので、そういった意味では入りやすいようにしていきたいと思う。ただし、年度途中は定員の問題もあつたり、難しい場合もある。

【参加者】

上の子はひだまり保育所に入っていて、下の子が年度途中から入るとなったら、どうなるのか。

【町長】

自由だが、通常兄弟で入れたいというのはある。後は何歳児かによっても、その年代はもう満員だけれど、この年なら空いているというのも実際あるので、調整しなくてはならない。

【副町長】

未満児の取り扱いに苦慮することがある。4月1日の入所がなかなかなく、年度途中で入る。未満児は少人数で保育士が一人付かなくてはならない。年度途中で保育士をもう一人採用というのはなかなか難しく、定員の枠で空いているところに入っていくこともあつて、お兄ちゃん・お姉ちゃんがひだまり保育所に入っていて、下の子が未満児で入所したいときに、空きが無いので、つつなん保育所に入っていくようなケースもごく稀にある。

【参加者】

新嵐山の敷地について、ある程度整備はしてもらえるのか。荒らされる気がしている。

【町長】

現在、1日2回巡回に行く職員を雇い、管理させていただいている。水道・電気は切っていない、基本料金は払っている状況。あとは最低限の維持管理で、草はぼうぼうになる可能性はある。夏場は上は牧場になるので牧場管理、農林課サイドの方である程度整備することになる。施設周り、施設の中は随時点検していかなくてはならないと考えている。

資料にある通り、公園機能のようなものを夏場はど

うするか。先ほどのドッグランの話もあつたが、その辺りをしっかり考えて予算を投じて維持管理、場合によっては利用いただくことを考えなくてはならない。ただ、レストランだとか施設をガンガン使うという想定は今のところない。

一部オープンと書いてある5番目のところだが、スキー場だけは書かれており、一部直営でやれる部分についてはグランドオープンを待たずに先にやりましょうという考え方。特にスキー場オープン前にああいうことになったものですから、令和6年シーズンについては、スキー場は少なくとも直営でもやりたいと考えている。時間的猶予が短いので、夏をどうするのかはいろいろ厳しい状況ではある。

当然スキー場をやるとなると、リフトの問題がある。一旦休止しているのので、整備やそういうものをもう1回やり直さなくてはならない可能性もあり得る。運輸局の基準が非常に厳しく、安全管理について皆さんが思っている以上に厳しい。私たちとしては直営含め、まずプレオープン、一部オープンという形に来年の今ごろには持っていきたいと思っている。

【参加者】

日高山脈国立公園化の件でお聞きしたい。芽室岳は日高山脈に入と思うが、民有地は入らないのか。

【町長】

日高の方にアポイ岳という山があり、近辺で民有地が少しあるが殆ど国有地。芽室岳は芽室町ではなく、清水町に位置している。

国立公園になるといろいろ整備できるという考え方もできるが、場所によっては逆に残さなくてはならない、手を入れられなくなる。地域が一種、二種、三種あり、種類によってやり方、手の付け方が変わってくる。恐らく頂上に向かうにつれてそのまま残しましょうということになってくると思う。

【参加者】

認可は今年8月想定か。

【町長】

今の段階では今年の8月くらい認可の想定。私は日高山脈の観光連携推進協議会の会長をさせていただいており、6自治体で連携している。日高山脈はどちらかといえばプロが登る山であり、素人の方がどんどん行けるような状況ではない。それより、ああいう景観だとか食、憩いの場を連携しながら観光を進めたいと考えている。

昨年はおかげ様でフライトツアーとして日高山脈上空で貸切機を飛ばすというのを2回実施し、いずれもチケットがすぐに売れた。天候が曇りがちであったが、山脈を上から眺める機会は貴重であり、好評であった。

【参加者】

今、キャンピングカーを持っている方がとても多い。新嵐山はキャンピングカーを対象としたサイトを整備する予定はあるか。

【町長】

キャンピングカーを対象としているものではなかったが、以前は道路を挟んで東側にオートサイトがあり、災害で流されてしまった。新嵐山でキャンプ場がないということにはならないと思う。キャンプにも様々な種類があり、フリーサイト、オートサイト、コテージ的なもの、グランピング、そういった種類から選択いただけるような感じが良いのではと考えている。

新嵐山株式会社もフリーサイト、グランピング、ペットと泊まれるサイトを整備するなど工夫はさせていただいていた。その通りやるということではなく、今頂いた意見など踏まえ、例えばキャンピングカー専用の場所があっても良いのかもしれない。詳細はこれからの議論になるが、キャンプができる場所がない新嵐山はあまりイメージできない。その辺りを資料にあるように、ランドデザインで表していく。

【参加者】

新嵐山関係を総括する課を作る予定はないのか。

【町長】

課はないが、魅力創造課の中に担当の職員を2人配

置している。最終的には課全体で取り組むこともあると思うが、今は企画の段階のため2人でやってもらっている。

【参加者】

公立病院で訪問看護用に車を買う資金を募っていたが、予定額に達したのか。

【町長】

おかげ様で、クラウドファンディングで600万円の目標に対して700万円近く集まった。車は完全に整備できる形となり、皆さんに感謝している。

特に訪問看護等で雪道を走るのであれば、しっかりした四駆の車でないと郊外地は厳しいものがある。通常、看護の車というと軽自動車が多いが、そうでないものがやはり必要ということで、皆さんにお願いさせていただいた。非常に多くの賛同をいただき、嬉しく思っている。これから病院も訪問診療、訪問看護、訪問介護、こういったものを売りにしていきたいと思っている。入院という方法もあるが、ご自宅でいかに看られるか。リハビリのスタッフも増員しており、ご自宅での訪問リハビリにも力を入れている。

【参加者】

新嵐山ランドオープンについて。前あったロッジなどを復活させるイメージなのか、それともアップグレードする予定なのか。

【町長】

その辺りは、資料にありますランドデザインの中でどういうふうにしていくのか考えていく予定。老朽化している部分があるので、居抜きであるまどこかの事業者が入って営業するのは難しいと思っている。何らかの改修が必要と考えており、そこにはお金はかかる。それが改修なのか改築なのか、事業費含めランドデザインの中で検討していきたい。

そこに新聞報道でもあったように、モンベル社のノウハウを活用させていただきたい。スキー場だけの話ではなく、アウトドアとしてエリアをどうやって活性化していくのか協力をいただきたいという段階。設計や構想

がある程度固まった段階で、また皆さんにご意見をいただいくようなことを繰り返しながら進めていきたい。

一度休止してしまうと、施設は老朽化する。先ほどのリフトの話もそうだが、もしかすると大きな金額がかかるのかもしれない。ただ、そのときに総事業費のことだけをお話するのではなく、国の補助や交付金などいろいろ活用していきたい。皆さんの直接の負担、町負担をいかに少なくするか考えていきたい。

【参加者】

モンベルの服は町内のどこで買えるのか。

【町長】

芽室町内では、町の駅で扱っているのは服より小物中心。服となると南富良野のなどモンベルショップということになる。モンベル社にもショップを誘致できないか、お願いしている状況。それを期待される方もいらっしゃるが、今の段階では何とも言えない。

10時50分終了

